



板橋ともゆき 市政レポート

2013

Itabashi Tomoyuki Report

vol.33

「川口宿鳩ヶ谷宿日光御成道まつり」の今後について

昨年(2012年)の11月11日、川口市と鳩ヶ谷市の合併1周年を記念し、新市の一体感の醸成と郷土愛を育むことを目的として「川口宿鳩ヶ谷宿日光御成道まつり」が開催されました。

当日は、徳川宗家18代当主徳川恒孝氏も参加され、市内の小中学生などによる「マーチングバンド」を皮切りに、岩槻藩主の参勤交代を模した「大名行列」や川口にゆかりのある歴史上の人物が登場する「川口歴史行列」が続き、300年ぶりに再現された「日光社参行列」で掉尾を飾りました。

この社参行列では、俳優の松平健さんが八代將軍徳川吉宗役を演じるなど、実に総勢1,800名を超える出演者による勇壮で華麗な



時代絵巻行列が繰り広げられました。

その沿道には、川口始まって以来の約18万人にも及ぶ観客が集まり、同時に開催されました「鳩ヶ谷まつり」「商工まつり」と合わせて、市内外から約28万5千人もの人出で賑わい、多くの方々に川口のすばらしい歴史を知っていただくとともに、市民の皆さんには郷土の誇りを実感してもらおう、大変良い機会になったと思っております。

その後、このお祭りを継続的にやっていくのかどうかとの問い合わせが、市民の皆様から寄せられました。

来年以降の開催については経済効果や街のシンボルとしての宣伝効果等、期待される一方で、多額の経費や安全警備の課題もあり次回開催は未定です。

市民皆様の貴重なご意見を賜りたく、今一度、お祭りの開催概要について掲載させていただきます。



ペDESTリアンデッキからの観衆の首様

キュボラ広場において出立式

